

カレッジ通信

智辯学園奈良カレッジ小学部
平成29年度10月号
平成29年10月16日 発行



秋も深まり、朝夕はめっきり冷え込むようになってきましたが、保護者の皆様はお変わりございませんか。体調を崩しやすい時節ですので、どうぞご自愛ください。

さて、先日の運動会には、たくさんの保護者の皆様にお集まりいただき、ありがとうございました。今年の運動会も児童たちの頑張りもあって、大変盛り上がりました。午後からは天候に恵まれすぎでずいぶん暑くなりましたが、児童たちの熱気に天候も圧倒されたのではないのでしょうか。お陰様で大きな怪我や体調不良もなく、運動会を無事に終えることができました。これも児童と保護者の皆様のご協力の賜と心から感謝申し上げます。

ところで、運動会を見ていて、日々の積み重ねがいかに大切かということを感じました。1年生も入学したばかりの頃とは見違えるほど立派で、日々の学校生活や体育の中で身につけたことをしっかりと発揮して、素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。また、5・6年生の運動会での姿は本当に頼もしく感じました。あのように堂々と行動できたのも、一年一年しっかりと学びを積み重ねてきた結果であると思います。

運動会の済んだ今、児童たちは平常の学校生活に戻り、日々の営みに励んでいます。この日常の一コマ一コマを大切に、さらなる成長へとつなげてほしいと願っています。

きっと下級生は上級生の格好いい姿に憧れ、自分たちもあのようになりたいと感じてくれたのではないのでしょうか。それを本校の良き伝統として守っていったほしいなと思いました。

2学期もいよいよ後半を迎えますが、児童たちと一緒にしっかりと頑張っていきたいと思っています。

10～11月の学校行事

月	日	曜	行	事	月	日	曜	行	事
10	17	火	感謝祭		11	1	水		
	18	水				2	木	家庭学習	
	19	木				3	金	文化の日	
	20	金				4	土	家庭学習	
	21	土	週休日			5	日		
	22	日				6	月		
	23	月				7	火	6年実力テスト	
	24	火	6年児童・保護者対象中学部説明会			8	水	保護者会（高学年）	
	25	水				9	木	保護者会（低学年）	
	26	木	遠足（2・3・4年）			10	金	児童会集会	
11	27	金	遠足（1・5・6年）		12	11	土	週休日	
	28	土	漢字検定（希望者）			12	日		
	29	日				13	月	感謝祭・中高文化発表会	
	30	月				14	火		
	31	火				15	水	交通安全教室・警察音楽隊演奏会	

奈良県「1日こども知事」に本校児童が選ばれました

8月25日（金曜日）、奈良県庁で、県内在学の10人の小学5・6年生が知事の仕事を体験する「1日こども知事」が開催され、本校5年1組の大森一平さんと原田奏子さんの2人がそのメンバーに選ばれて参加しました。この取り組みは、こどもたちに県政に対する興味や奈良への愛着を深めてもらうとともに、次代を担うこどもたちの純粋な夢を育むことを目的として奈良県が毎年実施しています。今回で7回目になります。本校の2人も、それぞれが考えた施策を発表したり、模擬記者会見で新聞記者からの質問を受けたりと貴重な体験ができました。詳細は奈良県のホームページに掲載されていますので是非ご覧ください。

各種コンクール入賞者紹介

平成29年度「少年の主張（香芝市）」

- 優秀賞

「電車内でもオリンピック」
6年1組 中村美咲（なかむら みさき）さん
- 優良賞

「人がグループ化すると」
5年1組 山内望美（やまうち のぞみ）さん

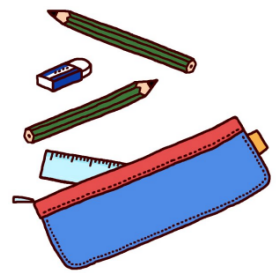
今年の全国学力・学習状況調査の結果について

6年生が本年度4月に受験した全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。調査の内容は、国語A・国語B・算数A・算数Bと児童質問紙に分かれており、Aは主として知識、Bは主として活用の問題です。全国平均や各県の平均などはこれまでに報道されご存知のことと思いますが、児童の基礎学力を確認するのに良い機会と考え、毎年本校も参加しています。また、児童質問用紙で児童各人の生活の様子がわかるのも本調査のメリットであると考えています。以下が本校6年生の結果です。

- 【国語】

国語A（主として知識）
平均正答率が88.0％（全国74.9％）と基本的な学力はきちんと身につけている児童がほとんどでした。

国語B（主として活用）
平均正答率が74.0％（全国57.6％）と知識を活用し、考える力も概ね身につけていると思います。



「国語の勉強が好き」（「どちらかといえば」を含む：以下同様です）75.0％と少し低いですが、「国語の勉強は大切だ」95.8％、「国語の授業の内容がよくわかる」94.4％、「読書が好き」86.1％と国語に対する児童の意識はなかなか高いと言えます。しかし、「うまく伝わるように話の組み立てをしている」は55.6％、「考えの理由がわかるように気をつけて書く」は68.1％と少し低くなっています。国語の基礎的な学力や思考力は身につけていると思いますが、自分の考えを人にわかりやすく論理的に述べたり発表したりすることに課題のあることがわかりました。今後は国語に対する興味・関心をさらに広げ、積極的に他者との交流の機会を増やししながら表現力を磨き、コミュニケーションの能力向上を図ってまいります。

- 【算数】

算数A（主として知識）
平均正答率が95.0％（全国78.8％）とほとんどの児童が基本的な学力は十分に身につけていると言えます。

算数B（主として活用）

平均正答率が69.0％（46.2％）で、例年の6年生とほぼ同様の結果でした。

「算数の勉強は大切だ」95.8％、「算数で学習したことは将来社会に出たときに役に立つ」87.5％と高いですが、「算数の勉強は好きだ」75.0％は国語同様少し低く、「新しい問題に出合ったときそれを解いてみたい」75.0％（全国75.7％）、「解き方がわからないときはあきらめずいろいろな方法を考える」79.1％（全国81.2％）、「算数で学習したことを普段の生活で活用できないか考える」58.4％（全国69.1％）など、算数に対する意欲や関心は全国レベルよりも低いことがわかりました。本校では例年このような結果となる傾向があります。今回のテストの成績から考えても、児童たちの算数の結果に対する要求水準が高いあまりに自分の算数学習に対する成果に十分満足できていないことの表れであると考えています。中でも、「算数の授業の内容がよくわかる」61.1％（全国80.6％）については、6年生は中学入試レベルの演習問題を教材として取り扱っていることも影響していると考えられます。算数の難題に挑戦し、それが解けたときの快感を多くの児童に感じて欲しいと願っています。算数の基礎学力は十分に身につけているので、今後は、基礎学力のさらなる充実とそれを活用して児童各自が主体的に問題に取り組み、論理的思考力や応用力に磨きをかけられるような授業を展開するように努めてまいります。算数は単に答えが合っていればよいという教科ではないので、思考過程を楽しみながら算数を学べるよう指導を工夫してまいります。

学習についての総括

2020年は教育改革の年です。小学校の学習指導要領が改訂され、「大学入試センター試験」が「大学入学共通テスト」になり、マーク式から記述式の問題も盛り込んだテストになります。これまで受験生に求められていたインプットした知識をテストの時にアウトプットするという力だけでは、大学入試を乗りこえられない時代に入ります。

今後は、小中高を通してどんなことを体験し、学んだのか、どんなことに主体的に関わり、他者と協力して何を成し遂げたのかなどが大切な課題になります。学んだことを活かしながら自分で考え、気づき、周囲を巻き込んで積極的に活動できるような児童生徒像が求められるのです。テストで良い成績を取っていればそれでよいと言う時代はまもなく終止符を打ち、学習に対する意欲や実際の取り組みを問われる時代が到来します。

学校も、これまでの一斉授業形式だけではなく、児童生徒が学び合う授業（アクティブラーニング）を実施し、教科横断的な思考ができ、学んだことを実生活に活用していく力や答えのない問題を自分たちなりに解決していく力を養うことが求められています。

本校でも11月からはいよいよICT設備を活用した授業を始めます。児童が互いに学び合い、高め合うような教育手法を積極的に取り入れ、児童がいきいきと活動できる学校教育を目指して頑張ってまいります。

【児童質問紙】

まず1日の勉強時間ですが「3時間以上」37.5％、「2時間以上」25.0％でした。

次に、基本的生活習慣に関わって、全国平均より低い値だったものは、「朝食を毎日食べている」93.1％（全国95.3％）「毎日、同じくらの時刻に寝ている」77.8％（全国79.8％）でした。児童が充実した一日を過ごせるよう、まずは「早寝、早起き、朝ご飯」の習慣づけをご家庭でも徹底していただき、毎日がほぼ一定したサイクルで過ごせるように基本的生活習慣の確立にご協力をお願いします。それが学力向上の土台となります。

また、「学校の決まりを守っていない」と答えた児童が16.7％いました。また「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」との問いに「どちらかといえばそう思わない」と答えた児童が4.2％いました。どちらも残念な結果です。今後しっかりと規範意識や人権意識のさらなる向上といじめ撲滅を期して指導を徹底したいと考えています。

次に、「人の役に立つ人間になりたい」と答えた児童は94.4％（全国92.6％）いましたが、「将来の夢や目標を持っている」77.8％（全国85.9％）は全国平均を下回りました。目標を持って生活することで学習を含め日々の生活がより充実したものとなります。夢を叶え、社会でリーダーシップを発揮できる人になるために、本校では、「難しいことでも、失敗を恐れず積極的・主体的に行動する力」が身に付くよう指導していききたいと思います。

ご家庭でのご指導もよろしくお願いいたします。

塚原先生の仏教コラム

観自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五
蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不
異色色即是空空即是色受想行識亦復如
是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨
不增不減是故空中無色無受想行識 無眼
耳鼻舌身意 無色声香味触法無眼界乃至
無意識界無無明亦無無明尽乃至無老死

今回は、観自在菩薩（観音様）が説明する「空」について、**太字**の部分を取り上げて、簡単に触れたいと思います。



① **色不異空空不異色 色即是空空即是色**
（訳）色は空に異ならず、空は色に異ならず
色は即ち空なり、空は即ち色なり
「色」とは、「いる」や「かたち」で表される、この世のすべての物事をいいます。つまり、「空」＝この世のすべての物事 という意味になります。

②～⑤については、下記イラストをご覧ください。

人は、②～⑤のように、様々な器官を総合的に働かせて、複雑なすべての物事（色）を認識しています。人は、物事を大きく「快」「不快」に分けて、処理したり行動したりしています。

それらを、般若心経は「無」と否定しています。人は、すべての物事を②～⑤のように、分けて認識することで、効率よく生きていこうとしますが、本来、世の中すべてのモノには境目がなく、ひとつであるというのが「空」の意味するところであり、良いも悪いもないということです。「空」を会得するには、人が持つ認識作用が起こすカテゴリー化やフィルターをすべて取り外さなければならないということです。

